



# もりの手紙

mo ri no te ga mi

2  
Feb

森にこよう!  
もりメイト倶楽部  
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

NO 295 / 2022

コロナ禍の中、  
大切な命を守り  
出来る時に  
出来る事を!

## contents

- ★ 2月例会案内  
2月27日「黄金山桜救出大作戦」  
..... 2
- ★ 部会報告  
クラフト : 佐藤  
里山 : 岩田  
環研 : 佐々木  
..... 3
- ★ 間伐研修会 : 松崎、佐藤  
..... 4, 5
- ★ 風を感じて : 秋武
- ★ お知らせ : 講演会&  
パネルディスカッション  
..... 6
- ★ 樹木いきいき講座<その13>  
: 藤原
- ★ 今月のひと枝 : クロマツ  
..... 7
- ★ 2月・各部の活動予定  
・「薪」の販売その後  
..... 8



周囲の安全確認後、受け口作成。見逃すまいと皆真剣そのもの。～昨年12月間伐研修会にて～

### 私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆ こだまクリニック
- ◆ イオングループ
- ◆ 株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆ ゆめみらい株式会社
- ◆ 株式会社東和テクノロジー
- ◆ 中外工業株式会社
- ◆ 中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- ◆ 公益社団法人広島県みどり推進機構
- ◆ ゆにぞんスマイルクラブ

(ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略)

もりメイト倶楽部  
MORIMATE-CH

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

#### 『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり : 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く : 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ : 人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える : 恵みを利活用し、拡げる活動。

#### 例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)  
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。





## 2022年2月地域貢献プロジェクト例会【担当2班】

昨年7月に予定し雨で中止に・・・

### 黄金山桜救出大作戦ふたたび

～～黄金山南側斜面の山桜を救おう！～～

協力：楠那学区公衆衛生推進協議会

◆日 時： 2月27日(第4日曜) 9時～少雨決行

※当日のリーダー、2班のメンバーは準備のため8時現場集合

◆会 場： <sup>くすな</sup>楠那公民館 (※乗り合わせの協力をお願いします。)

※ 広島市南区楠那町7番10号(南区スポーツセンター裏)

◆持参物： 山の道具・弁当・飲み物・名札

※急斜面なので、スパイク付きなど滑り止めの装備があるとベストです。

◆申込み： 2月21日(月)までに各班長へ連絡。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は  
下記へ電話かメールにてご連絡下さい。

090-6419-7531 : [info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)



黄金山ならではの海を臨む作業地。



山の中腹には何本もの大きな大きなヤマザクラがあります。



黄金山南側斜面には、たくさんの山桜が自生しています。中には数人で抱えるほどの大きな木もあります。しかし、周囲の樹木が大きくなり山桜の樹勢がかなり衰えてきています。

もりメイト倶楽部は2008年から地元の要請を受け整備に入っており、南側斜面の整備は2018年以來(写真)の作業となります。しかしながら、昨年7月に予定していた当地での例会は、準備万端整えながらも雨のため中止となりました。皆さん、今回こそ山桜の為に一肌脱ぎませんか？

3月例会は、尾長天満宮「鎮守の森」で行う予定。広島駅すぐ近く、沢山の参加お待ちしております。



★1月部会は、「まん延防止等重点措置」が発令され、措置が解除される間は原則休会といたしました。

有志による少人数での部材加工を、倶楽部の竹原顧問を中心に部員皆さんの健康管理を含め、安全に作業していただきました。

<作業の一例を紹介します>

木工端材を整形研磨し積み木を製作しました。また、3年前間伐し貰い受けた桐材直径50cmを製材し、「積み木箱」の製作をしました。

子供たちが集う広場、待合室等での活用を願っております。

右:桐材を製材して作った積み木の箱 左:端材を利用し磨きあげた積み木



受け口を確認する

1月9日(日)「まん延防止等重点措置」が発令され、当部会も開催するかどうか悩みました。私が把握している会員の連絡先が分かる方には、参加の自粛を促しましたが、それでも、10名の参加者がありました。

この日の作業は、以前から気になっていた側道添いの枯れたコナラを1本伐採しました。ロープ掛けの手始めに行うスローラインの練習から始め、一人3回として、2人目で成功。チルホールの使い方のおさらいをし、続いて昨年12月の間伐研修で習った伐倒の基本を確認しながら作業を行いました。

その後、ソーシャルディスタンスを保ち、焚き火を囲みながら、もみじ饅頭とコーヒーをいただき休憩。早めに昼食をとり、12時に解散しました。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

次回は2月13日を予定していましたが、新型コロナウイルス対策の「まん延防止等重点措置」の適用が延長されたため、来月の部会は休会とします。

昨年12月、松が原のキッズフィールドで水道タンクの修繕を行いました。一昨年夏の大雨により大量に土砂が流れ込み、水路をせき止めつつあったので、水道管に溜まった土砂を取り除き、水の流れの勢いを出すように水道管を設置しました。また、ツリーハウスとフィールドの点検、倉庫の扉の修繕を併せて行いました。

ツリーハウスでは腐食しつつある箇所の手入れを検討し、大量の枯葉を除き、出っ張っていた木を削ぎ落としました。倉庫の扉も綺麗に手直し、立派な扉になりました。(12/5活動 参加者6名)。

今後は、以前製作したツリーハウス(現在未使用)とステージの撤去、竹林の整備、枯木の伐倒等、

環研部会と例会に組み入れ手入れを行っていきたいと思っています。また現在進行中のツリーハウスの製作、テラスの手摺の設置については引き続きクラフト部会の協力を得て取り掛かる予定となっています。

本年は、ツリーハウスを活用し、木育の内容の充実を図り環境研究部会がより充実できる部会になればいいと思っています。



土砂を取り除く水道タンクの修繕



倉庫の扉も新しくなりました。

1月号に引き続き、研修会の報告をいたします。受講生は入会歴5年未満の4名。安全に伐倒するための基本を、講師の井本さんにご指導いただきました。今回は、前回報告頂いた吉村隆文さん、藤原康祐さんに続いて、松崎友輔さん、佐藤謙治さんの報告を掲載します。初心に帰り、新たな気持ちで「安全・確実」を共に学びましょう。

## 【松崎友輔 3班】

今回は普段の例会や部会の活動とは違い、間伐研修ということで安全に伐倒するための基本を学ぶことができました。

私は伐倒というと受け口や追い口、伐倒方向など、どのように木を倒すのかということばかり考えていましたが、まず大切なのはチェーンソーの手入れだという事に改めて気がつきました。

目立てがきちんとされていないとチェーンソーや使用している人への負担が増えるのはもちろんのこと、作業効率も悪くなり安全に作業が進められない。また木がスムーズに切れないことによりチェーンソーの使い方に癖がついてしまうことがわかりました。今後はチェーンソーを使用する前に刃のチェックなどをしてきちんと研がれているか異常はないか確認して作業に入ることが大切だと感じました。

受け口と追い口に関しては今まで教えてもらっていたものとは違う所があり驚きました。

特に受け口の切り方は、こんな切り方があるのか！ととても驚きました。今



伐倒方向を確認している松崎さん

まで持ち方などはあまり意識せずに使っていたチェーンソーですが、口ツクの掛け方や手の向きや指の形や切る時の体制など細かい所も指摘していただき、チェーンソーの正しい使用方法を改めて理解することができました。

伐倒する木の選木に関しては、その森をどのような活用の仕方にするかによって倒す木や倒し方が変わってくるのだと教えていただきました。

ただ枯れているから切るというだけでなく、その木を切ることによって周りの木や植物、景観などにどのような影響をあたえるのか、先の景色を想像し

ながら間伐していかないといけないのだと思いました。伐倒する時は倒したい方向の木々の枝の向きを見て掛かり木になりそうかどうか見極めるなど、なるべくスムーズに倒せそうな方向を選ぶことが大切だとわかりました。

私はチェーンソーでの伐倒作業はできなかったのですが、藤原さんの伐倒作業を見ることができました。今日教わった事と照らし合わせながら客観的に見ることができました。今回は他の受講生の作業も見ることができ、他の方が指摘されているのを見て学ぶことができたのがとても良かったです。今回の研修を受けて、チェーンソーの持ち方や受け口追い口の作り方また選木や伐倒方法にはそれぞれ意味があり、それをきちんとやることにより安全に作業ができるということに繋がると実感することができました。

今までクラブで学んできたことと今日新しく学んだことを、自分の中で融合させながら今後のクラブの活動に活かしていきたいと思います。受講生として参加できて本当に良かったです。ありがとうございました。

## 【佐藤謙治：4班】

研修会に参加させていただき有難うございました。チェーンソーの取り扱い等、自己流に満足しておりましたが、技能講習他指摘を受けたことのない基本操作の「基本とは？」から学ぶ良い機会となりました。この度の報告は、研修の中で特に印象に残り、しっかり押さえておきたい、また、気付かされた場面を、私の視点で取り上げました。

### ☆チェーンソー取り扱い基本について(2021.12.19 研修会内容まとめ)☆

**1) 服装の基本：**ヘルメット・フェイスガード・イヤーマフ・チャップス・チェーンソー防護ブーツ、防振手袋すべて装着。

**2) 目立ての基本：**●樹脂や油はふき取る→●ガイドバーの固定(ソーチェーンの固定)→●やすりは両手で行う

(ホルダー付きがお薦め)・アングルプレートで角度を正確に保ち、水平に操作する・往復は厳禁(押す時のみ削れる)。  
やすりの摩耗は論外。全てのカッターの長さが誤差0.2mm以内にする。

\*プロが山での作業途中に固定無しで目立てしているタッチアップ作業は、備かに鈍った刃先を軽く(1~2擦りして)研いでいる。これ以上強く研ぐと刃形が変わってしまうため、土や石に当ててダメージを受けた場合は予備チェーンに交換するか、パイス固定など目立て治具を使用して本格的に目立てを行う。

次ページへ続く→



## 基本を学ぶ間伐研修会 part 2



●ガイドバー、ソーチェーンを固定。アングルプレートを使用。デプスゲージを当てる。



◎ヤスリホルダーを付け両手で行う。基本の基本。



●デプスゲージ：ソフトとハード  
\*ソフトは杉・桧木などの比較的柔らかい樹。\*ハードは樫材などの堅い樹。



③ cutter 全ての長さをそろえる (0.2mm 以内)  
\*そろえるのは極めて重要：cutter の高さ、あさがそれぞれ一定となる。



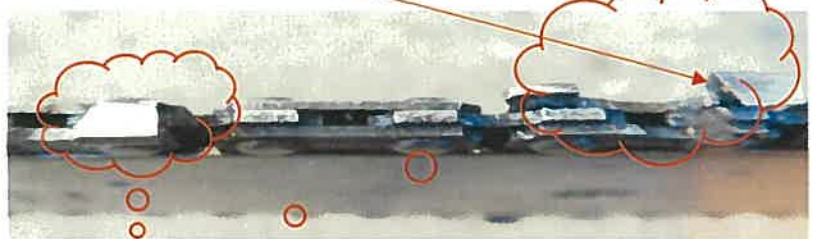
\*井本講師の目立てソーチェーン。  
ここまで使用！！ (4mm 限界)。

### 目立ての悪い例



ヤスリ径が合っていない(太い)。  
タイストラップを削っている。  
\*手元が下がって目立てをしている。  
→ソーチェーンが破断する。危険！

右cutterの刃が直線でない。→やすり操作の手元、ソーチェーンのふらつきが原因。\*目立てはやすりホルダー、両手、チェーンロックが基本。



左右cutterの長さが違う。→cutterの高さ・あさが異なり切れない。  
\*右と左の利き腕が原因では？

### 3) ソーチェーンの張りの基本；指での張力確認は間違い。\*人により加える力が違う。

ガイドバーの下側でタイストラップとバーレール間に隙間が無くなってからプラスの微力張り。  
また、バーの腹側(下)で鋸断すると、押さえられてバーを持ち上げる方向へ力が掛かるので、あらかじめバーを固定するボルトの遊びをとっておかないと使用中にバーが持ち上がって、チェーンの張りも変化します。

### 4) チェーンソーの操作、持ち方の基本

①左手は親指を下に回して握る。②右手はリアハンドルを保持したまま、前ハンドルを握った左手甲でブレーキレバーを押さえ(ロック)、解除は握った親指をハンドルに掛けたまま左手指先で。左手で持ち右手でブレーキレバーを操作しない。  
チェーンソーは、必ず両手で保持！



佐藤さんからの研修報告は、この後「受け口、追い口」の基本作業へと続きます。次号に掲載予定。

## ～風を感じて～

## コロナに負けず自然を楽しむ！



秋武 明  
5 班班長 68 歳

バイクを走らせていく。体全体で感じる風の心地よさが、世間の煩わしさを忘れさせてくれる。今まで何回、何十回と走ってきたが、いつも新鮮で気持ちを和らげてくれる景色がそこにある。加計から戸河内を抜けて「深入山」を周り込み、更に臥龍山の麓に広がる八幡高原から滝山狭を経て「温井ダム」に至るコースである。「戸河内インター」あたりで弁当を買い込み、八幡高原のベンチで景色を見ながらの弁当の味は、格別に美味しい。車良

し、バイク良し、春夏秋冬良し。と、言いたいところだが、南国生まれの小生は冬だけは走ったことがない。私の生まれは奄美大島の徳之島なんです。

昭和 52 年広島へ来た年の冬に、生まれて初めて某スキー場へ行き、これまた初めてスキーというものに挑戦した時に、リフトから降りたと思ったら、そのまま谷底へまっしぐらに滑り落ちた事件が心の傷となっているからかも知れない。その時以来、私はスキーに未だに行っ

ていない。風を体全体で感じながら、バイクで走る県北の自然が私にとって生きる活力を与えてくれる場所なのです。嘗ては妻を後ろに乗せ県北と一緒に走ったのであるが、さすがに今は控えている。もうすぐ 70 の齢が見えてくる、大型バイクから中型に乗り換えた今、いつ迄乗れるかわからないが、コロナなんかには負けてはいられない、いつかもう一度、妻を後ろにバイクで自然を楽しみたい。

### 「生物多様性」講演会&パネルディスカッションのお知らせ

開催日：令和4(2022)年2月23日(祝)  
時間：13:00~16:00 (12:45接続開始)  
開催方法：Zoomウェビナー

#### 【基調講演】

「広島プランー生物多様性の現況とその保全」  
中越信和氏(広島大学名誉教授)

#### 【事例発表・パネルディスカッション】

テーマ：「地域での生物多様性の保全の取り組みを進めて行くために」

パネラー：河野弥生氏(NPO法人西中国山地自然史研究会) 本宮宏美氏(NPO法人三段峽-太田川流域研究会)

山本恵由美氏(NPO法人もりメイト倶楽部Hiroshima) 西原直久氏(大柿自然環境体験学習交流館<さとうみ科学館>)

【コーディネーター】 和田秀次氏((一財)広島県環境保健協会)

【申し込み】：スマートフォンで左下の QR コードを読み取って登録用 URL にアクセスし、登録してください。登録後、登録メールに接続情報が届きます。下記 URL からアクセスできます。(要事前申し込み)



[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_RhbAHWAhQICHJnoZmnanQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_RhbAHWAhQICHJnoZmnanQ)

または、もりメイト事務局へ連絡下さい。

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com



※ 新型コロナウイルス感染急拡大によりオンライン開催となります。



今回は、【森を創る 森を語る】<著者(編者)は稲本 正氏>から、心に響いた引用文を紹介したいと思います。

この本は「森と木の文化」をテーマに、C. W. ニコルさん、今森光彦さん他各界からのオピニオンリーダーが、森と人の再生の可能性を、さまざまな経験と専門領域の知恵を力を込め語っています。

稲本正さんは冒頭で『樹々の葉の力に想いを寄せると、その偉大さに改めて驚かされる。サクラでもスギでもカツラでも、あの葉と水と二酸化炭素から太陽エネルギーの助けで、太い幹を創ったのだ。液体と気体からあの葉で個体を合成したのだからほとんど無から有を生じさせたよう

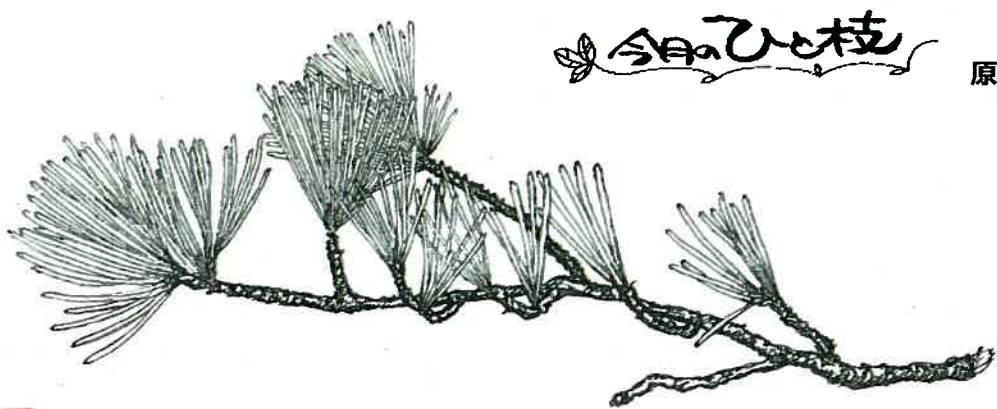
なものだ。(中略) 樹々の葉はよく見ると一枚一枚違う。大きき色。葉が針のようなマツやスギなどの針葉樹の葉。葉の表面のクチクラ層が太陽を反射して照り輝く照葉樹。落葉広葉樹は秋に紅葉し葉を落すが、ケヤキやブナの葉は小さく、トチやホオは大きい。樹種が同じでも、新緑から晩夏まで、緑の色は千差万別で、よくよく観察すると人間の顔と同じように、どの葉も個性がある。色や形や機能、二枚として同じ葉はない。』また、本の終わりに森と人が共生するための7カ条を提案されています。

《尚、この本の売上の一部は世界の森林保護のために寄附されます。》



～ 森と人が共生するための7カ条 ～

- 1 水や空気のおいしさを感じ取ることこそ、自分自身を守る術だと知ること。
- 2 森や生物そして文化を楽しみながら知識を深めること。
- 3 室内でも良いので一本でも植物でできれば木の苗を育て、愛情を注ぐこと。
- 4 生活の中に掠の木などの自然素材を入れ、循環型社会をめざし健康に生きる努力をすること。
- 5 発展途上国、特に熱帯の森林保護や再生活動を、わずかな金額でも良いので直接支援すること。
- 6 所属する職場や地域そして子供たちの中に、一人でも共生進化をするパートナーを見つけること。
- 7 行動する仲間を増やす創意工夫をし、少なくとも一年に一度は植林や育林活動に参加すること。



ゴヨウマツ(五葉松) <マツ科・マツ属>

日本固有種。北海道から九州に自生する常緑高木で、深山の尾根や岩場などに点々と生育する。針状の葉は長さ3~10mm、短枝に5本ずつ束につき、名の由来もここから来ている。葉先は尖っているが、触れても痛くなく、葉の側面には帯状の白緑色の気孔帯がある。5~6月に開花し、翌年の秋、球果(松ぼっくり)ができる。成長が非常に遅く、木質が柔軟で枝を曲げやすいため盆栽に使われることが多く、庭木と共に人気が高い。別名ヒメコマツ(姫小松)。・・・▼この冬の湯来はよく雪が降る。きらきら輝く一面の雪景色の中、久々に散策し、小高い山の中腹でゴヨウマツと出合う。▼ゴヨウマツの葉の断面はほぼ3角形で5本向き合うと円になる。馴染みのアカマツ、クロマツは葉が2本の二葉松<sup>にようまつ</sup>。葉の断面は半円形で葉が向かい合って合わせると円になる。マツ属の松葉は何れもこの特徴を持つ。▼凛とした空気が心地よい。冬は寒いけれど、この季節がなかったらどんなにか淋しいことだろう・・・。～2022・1・湯来町にて～



## —2月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

### 「薪」の販売その後

1月号で、「薪」の販売をお知らせしましたが、その後、問い合わせを頂き、軽トラ2台分を販売致しました。引き続き受け付けますので、連絡をお待ちしております。

※ 価格: 軽トラ一台 15,000円+送料 2,000円

※ 連絡先: もりメイト倶楽部事務局

【電話】 090-6419-7531

【Email】 [info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)

～自家木工・クラフト挑戦希望の方自由に参加お待ちしております～  
山本町鹿ヶ谷基地で活動しています。・・・の予定でしたが、まん延防止等重点措置発令中は原則休会します。

■連絡先: 佐藤 090-1682-6305  
[satoken069@yahoo.co.jp](mailto:satoken069@yahoo.co.jp)

クラフト  
部会

2月の活動は休会とします。

春を迎える3月はみんなで楽しく活動しましょう。  
コロナの終息を願っています!!

■連絡先: 岩田

080-5751-3798

里山部会

● 次年度の「もりメイトキッズ」の打ち合わせを行います。翌3月には現地にて整備と合わせて実地での取り組みを学習していきたいと思っています。子どもと一緒に楽しみたい方、どなたでもご参加ください。

■日時: 2月28日(月)18時30分～

■場所: 袋町交流プラザ

■連絡先: 佐々木

[mamakin0404@yahoo.co.jp](mailto:mamakin0404@yahoo.co.jp)

☆まん延防止等重点措置が延長の場合は延期とします\*

環研  
部会

今月は、秋武さんが寄稿(P6)して下さいました!

「もりの手紙」投稿お待ちしております。

▼ [tegami@morimate-ch.com](mailto:tegami@morimate-ch.com)

3月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。

■日時: 3月2日(水) 18:00~20:00

■場所: 袋町市民交流プラザ3F



## 会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。

私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

### 会員の種類

【正会員】: 倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】: 倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

### 年会費

【個人会費】: 3,000円

【企業会費】: 50,000円

### お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】 090-6419-7531

【Email】 [info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)

### 会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

《口座名: 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》